

平成24年度第2回放送番組審議会 議事録

- 開催日時 平成25年2月19日(火) 14時から15時10分
開催場所 三次市防災センター会議室
出席者委員 元泉園子(会長)・添田龍彦(副会長)・宗清弘樹・林 正
岡崎羊子・重信富子・前田茂・岩崎積
- 欠席者委員 元廣修・堀江利夫・湯藤浩康
- 説明員 (株)三次ケーブルビジョン
田坂代表取締役社長・松本専務取締役・新宅常務取締役
行政統轄課長・南特命担当・野田総務 GL・山光営業企画 GL
津田制作 GL・向井制作 G・幸住総務 SL
- 1 開 会 事務局が開会を宣言。続いて、代表取締役社長が開会にあたって挨拶する。
- 2 会長挨拶 元泉会長が挨拶を行い、委員の皆さんからたくさんの意見をいただき有意義な会にしたいと述べた。
- 3 審 議 審議に先立ち、1月30日(水)の「情報ストリート あっちこっち三次」の中で放送された特集番組『尾道松江線開通に向けて』のDVDを上映する。
- 会 長 企画意図並びに番組内容について、制作担当者に説明を求める。
- 社 側 資料内容に基づき説明する。
- 会 長 資料を参考に番組内容について、忌憚のない意見を願います。
- 委 員 開通に向けて大変期待されているが、具体的に各地の道の駅にしても機運は高まっているようだが、実際に具体化しているのか、一般市民には伝わってこない。そのあたりも捉えてあればもっと分りやすかったのではないか。

- 委員 先日山陰に行った際にも感じたことだが、映像を見ていると、増々三次が寂れるのではないかと懸念している。
- 委員 高速道路もいろいろな見方がある。周辺住民の声も幅広く取り上げて取材をしてはどうか。先日開通した願い橋も開通によって新たな渋滞も発生している。尾道松江道にしても、降りた時点の交通情報などグローバルな視点で取材をお願いしたい。
- 委員 他の報道を見ても、三次から出ていくことの便利さが強調されているように思われるが、他のケーブル局と連携して三次の良さを伝えてほしい。また尾道松江道の中心で、三次が目的地としてPRが出来る番組作りをしてほしい。
- 委員 1月30日に放送されると聞いていたので、オンタイムで見た。今日で2回目だが、今回見て理解できた部分もある。初めて見た人にも分かりやすい放送を心掛けることが大切だ。開通することは知っていても、区間や距離、所要時間や無料であることなど以外と知られていないのが事実だ。利用する側に立った情報提供が必要だと思う。映像的には、冬の時期でもあり、雪景色や工事区間の様子が多く、地味に映ってしまい目を引くところまでいっていないのが残念だ。もう少し興味が湧く構成が良いと思う。また、他の委員の発言にもあったように、他の局と連携して、市外の方を三次に誘うような番組作りが望ましい。
- 委員 当日の放送は見逃してしまったが、今日見た限りでは会議の映像やそのインタビューばかりが目立った。見逃した点については、依然のように番組表があれば、事前に知ることができたと思う。みんなに番組を見てもらう手立ても必要だ。
- 委員 開通に向けての特集は、今回が初めてだと思うが、良く出来ていると思う。一回目としては、行政サイドからの情報発信ということで、今後は先ほどから出ている市民サイドからの取材を通して情報を提供してもらえれば、もっと身近に思えるのではないか。地元で商売をされている方の開通へ合わせた取り組みなども積極的に取り上げてほしい。

- 委員 全体的に地味だ。会議の様子は伝えているが、内容がよく理解できない。会議の最終的な結論も気になる。この特集を一回目とするならば、次も見たいと思わせるものが足りない。次を楽しみにするような、次回に向けてのちょっとした仕掛けがあっても良かったのではないか。
- 委員 新しい高速道路が開通するという事は非常に明るいニュースとして、期待している人が多いのも事実で、通行する者には大変便利だが、反面打撃を受ける人もいる。明るいだけの放送をした場合に、そうじゃない見方をする人もいるので、その辺りの配慮も必要だと思う。
- 会長 予め番組内容を知っておく意味でも、番組表は必要だと思う。つづいて、今後の尾道松江道に関する番組企画について、制作担当者に説明を求める。
- 社側 資料内容に基づき説明する。
- 会長 それでは、今後予定されている企画について意見を願います。
- 委員 今回の放送で足りないところが良く捉えられていて、道の駅に関しても非常に良い視点から企画されていると思う。
- 委員 他の道路でトンネル工事を見学した際、その折にもらった土を今も記念として大切にしている。そういった特色のあるものがあれば、取材しても面白いのではないか。
- 委員 他市の観光協会とも連携して、公益的な集客に対する対応など先見性をもって、三次市に止まらず、関連性を持った取材をお願いしたい。
- 委員 三次市内の開通として取材するのだから、少なくとも、尾道・三次・松江道として、その辺も踏まえ、三次を意識した番組作りをお願いしたい。同時に布野の道の駅のリニューアルと合わせて、その周辺情報なども積極的に番組でPRして欲しい。

- 委員 次回からの企画については、今回の放送に対して出された意見が網羅されていて、他市の紹介の必要性も感じるが、紹介の際には、やはり三次のケーブル局だから、三次を起点とした松江、尾道との所要時間やルートなど関連性をもった放送になれば、身近に感じられるのではないか。
- 委員 開通まで、あとひと月余りの中で良く計画されていると思うが、見てもらわないと意味がない。放送日には、当日の昼の音声告知放送で知らせるのも、一つの方法だと思う。また、観光情報にも力を入れて、三次の良いところをもっと紹介してほしい。
- 委員 それぞれの特集番組については、どれくらいの放送時間を考えているのか。
- 社側 「あっちこっち三次」の特集として、8分程度を予定している。
- 委員 松江とか尾道は、よく知られているので穴場的な情報が良いと思う。開通に向けての番組なので100パーセント車を利用する方が対象になると思うので、駐車場の情報やインターからの所要時間など、しっかり情報の中に取り込んでほしい。
- 委員 お店ならお店、文化施設なら施設と点で紹介するのではなく、周辺の情報と合わせて、面として紹介してもらえそうな番組作りを是非お願いしたい。
- 委員 報道というものは、偏ってはならないという大原則があるが、地元のケーブルテレビなのだから、放送を通して三次最良の番組内容になっても良いのではないか。よろしくお願いしたい。
- 会長 一通り意見をいただいた。審議の中で発言のあった番組表の現状について説明を求める。
- 社側 多方面から要望をいただいているが、配布にかかる経費面の事情もあり、デジタル化に併せてEPG（電子番組表）の利用へ切り替えをお願いした経緯がある。今後については、配布の方法も含め再検討も考えているが決定に至っていないのが現状である。全利

用者への配布となると、印刷費も含めかなりの費用になることもご理解いただきたい。

社 側 番組への意見については大変参考になった。いろいろな視点から考えていくことが番組作りとしては常に大切であり、いろいろな世代の意見をいかに集約するかがひとつの課題だと認識している。番組審議会の中で、さまざまな立場からいただくメッセージを制作現場に活かしていきたい。開通による良い方向での影響、悪い方向での影響、後者であれば、どんな取り組みが必要なのか、市民の幸せを一番に考えた放送を心掛けたい。そのためにも他のケーブル局とも番組交流を通じて積極的に発信していきたい。

委 員 視聴者からの意見、感想として、現在放送されている「介護予防ラジオ体操」が最近良くなったと聞いている。今後についても、出演者を小学生や中学生、少年野球チーム、高校のクラブなどに依頼するなどすれば、もっと身近に感じられるのではないか。

社 側 先日も高校生をリーダーにお願いしている。今後についても、ご意見を参考に、いろいろなパターンを考えて継続していきたい。

会 長 他にないようなので、これで放送番組審議会を終了する。

閉 会 事務局が本日のニュース番組「情報ストリート・あっちこっち三次」で審議会の模様を放送し、議事録をホームページに掲載することを伝え、閉会した。